# 令和5年度　第5学年　授業改善プラン

台東区立台東育英小学校

## 1　児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

| | |
|---|---|
| 国　語 | ・読み取ったことに対する自分の考えを表現すること。<br>・漢字を正しく理解し、覚えたことを文章の中で活用していくこと。 |
| 社　会 | ・適切な資料を集めたり、選んだりして、そこから必要な情報を読み取ること。<br>・資料について、見方・考え方を働かせながら、社会的事象を考察すること。 |
| 算　数 | ・問題を正しく捉え、論理的に考え、解決すること。<br>・式や図などを用いて、自分の考えを分かりやすく説明すること。 |
| 理　科 | ・既習内容や生活経験と関連付けて、問題に対する予想をすること。<br>・観察、実験の結果を表やグラフなどに整理して、科学的に考察すること。 |

## 2　各教科の具体的な授業改善

| | 特に育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む<br>指導方法・指導体制の工夫 |
|---|---|---|
| 国語 | ・文章構成を考え、要旨を捉える力<br>・事実と感想、意見を区別して表現する力<br>・漢字等の基礎的な学力 | ・文章構成図を活用し、ゴールイメージをもたせる。<br>・場面や段落ごとに重要な語句に着目して読み、話の中心や要旨を捉えるようにする。<br>・事実と自分の考えを明確に分けて、発表したり、文章を書いたりする機会を設定する。<br>・単元末の「たいせつ」をもとに振り返り、学習内容の定着を図る。<br>・日頃から既習の漢字を活用するよう促す。 |
| 社会 | ・資料から情報を読み取り、課題解決する力<br>・資料から読み取れる情報を見付け、その情報から考えられることを自分でまとめる力 | ・写真資料や表・グラフの着目する視点を示す。<br>・自分の力でまとめられない児童には、穴埋めの型を示す。<br>・プレテスト、プリントで演習することで、学習内容の定着を図る。 |
| 算数 | ・問題の意味を正しく捉えて論理的に考え、結果を確かめたり、日常生活に生かしたりする力<br>・図、数、式を用いて考えたり、自分の考えを分かりやすく説明したりする力 | ・問題の意味を正しく捉えて問題解決するよう促す。習熟度別学習や学力向上推進ティーチャーによる個別指導を取り入れ、児童の実態に応じた指導方法を工夫する。<br>・グループワークなどを取り入れ、友達と協働的に学習する機会を設け、問題解決の過程や結果を、必要に応じて図や式などを用いて伝え合うようにする。 |
| 理科 | ・実験の目的を理解して、予想や実験計画を立てる力<br>・実験の結果から考察する力 | ・目的意識をもって実験に取り組むために、単元の課題把握を確実に行う。<br>・課題解決型の学習を取り入れ、同じ流れで学習を進めることで、学習スタイルを定着させる。<br>・結果と考察、結論の違いを明示的に指導する。<br>・1人1台端末を活用して、学んだこと、調べたことを自分で新聞にまとめる。 |